

13. 特別栽培農産物認証申請書等作成例

《申請書》

様式第1号(甲. 乙)	認証申請書	-----	66
様式第2号	現場栽培責任者及び現場確認責任者の配置計画	-----	69
別紙1-1	生産者等集計一覧表	-----	70
別紙1	生産者名等	-----	71
別紙2	生産計画	-----	72
別紙3	出荷計画	-----	73
別紙3-1	出荷販売計画	-----	74
別紙4	販売計画	-----	75
ガイドライン表示		-----	76
付表1	生産ほ場の周辺地図 (<u>現地検査時に提出</u>)	-----	78
付表2	精米施設及び保管場所等の見取り図	-----	79
付表3	特別栽培米受払台帳	-----	80

《認証シール追加交付依頼》

様式第10号	認証シール追加交付依頼書	-----	81
--------	--------------	-------	----

《変更届》

様式第6号	変更届	-----	82
別紙1-1	生産者等集計一覧表 (変更)	-----	83
別紙1	生産者名等 (変更)	-----	84
別紙2	生産計画 (変更)	-----	85
別紙3	出荷計画 (変更)	-----	86
別紙3-1	出荷販売計画 (変更)	-----	87

《実績報告書》

様式第8号	実績報告書	-----	88
別紙1-1	生産者等集計一覧表 (変更後の集計表を添付)	-----	89
別紙1	生産者名等 (面積変更なく、別紙1-1を添付する場合は不要)	-----	90
別紙2	生産実績	-----	91
別紙3	出荷実績	-----	92
別紙3-1	出荷販売実績	-----	93
別紙4	販売実績	-----	94
ガイドライン表示		-----	95
付表3	特別栽培米受払台帳 (<u>実績報告書への添付は原則不要</u>)	-----	96

山形県特別栽培農産物認証申請書

令和8年2月15日

公益財団法人 やまがた農業支援センター
理事長 殿

申請者 生産組織等名 JA〇〇特裁米研究会
申請(代表)者名 会長 〇〇 〇〇
郵便番号 012-3456
住所・所在地 〇〇市〇〇町〇-〇
電話番号 023-456-7890
FAX番号 023-456-9876
E-mail yamamaru@zenrei.or.jp

このことについて、公益財団法人やまがた農業支援センター特別栽培農産物認証業務規程第5条第1項の規定により、関係書類を添えて申請します。
なお、認証を受けるにあたっては、上記規程を遵守します。

記

生産は場が広範囲にわたる場合に配置できる

1 申請区分

申請区分	区分内容	現場栽培責任者等の有無
1	生産	—
2	生産	現場栽培責任者、現場確認責任者を配置する。
3	生産・精米	—
④	生産・精米	現場栽培責任者、現場確認責任者を配置する。
5	精米・販売	—

※該当する申請区分欄の番号に○を付す。

本申請書の添付資料は次のとおりとなりますので、十分確認の上提出してください。

申請区分		1 生産	2 生産	3 生産精米	4 生産精米	5 精米販売
添付資料						
様式第2号	現場栽培責任者及び現場確認責任者の配置計画	—	○	—	○	—
別紙1	生産者名等	○	○	○	○	—
別紙1-1	生産者等集計一覧表	※1				—
別紙2	生産計画	○	○	○	○	—
別紙3	出荷計画	○	○	—	—	—
別紙3-1	出荷販売計画	—	—	○	○	—
別紙4	販売計画	—	—	—	—	○
	ガイドライン表示	○	○	○	○	○
付表1	生産ほ場周辺図	※2				—
付表2	精米施設及び保管場所等の見取り図	—	—	○	○	○
付表3	当該年の特別栽培米受払台帳	—	—	○	○	○
	農業技術普及課の指導助言資料	○	○	○	○	—
	含有化学合成窒素成分等の証明資料	○	○	○	○	—

※1 広域生産組織や多品種申請の場合、地域・現場確認責任者・品種ごとの集計一覧表(別紙1-1)を添付する。

※2 申請時は提出不要、現地検査時に提出できるよう準備する。

2 申請担当者連絡先

氏名	〇〇 〇〇	電話番号	023-456-7895
FAX	023-456-9877	携帯電話	090-1234-5678
部署名	JA〇〇 △△支所△△△△課		
資料送付先	〒990-0011 山形市緑町六丁目90-15 JA〇〇 △△支所△△△△課		

日中連絡のつく電話番号・携帯電話番号を記載する

センター受付

※「申請者」欄の住所・連絡先と異なる場合は必ず記入する。

3 栽培責任者 (申請区分①、②、③、④は必ず記入、⑤は記入しない。)

氏 名	◇◇ ◇◇		
電話番号	023-456-9999	F A X	023-456-9877
住 所	〇〇市〇〇町〇番△号		
組 織 名	-	役 職	-

責任者名を個人名で表示する場合は「住 所」とする。

4 確認責任者 (申請区分①、②、③、④は必ず記入、⑤は記入しない。)

氏 名	×× ××		
電話番号	023-456-9998	F A X	023-456-1028
住 所	△△市●●町△番〇号		
主な履歴	年 月～H10年 3月	〇〇大学農学部卒業	
	H10年 4月～H21年 3月	J A △△入組 購買担当	
	H21年 4月～	就農	
	H30年 4月～	××地区実行組合副会長	

※主な履歴欄はその者の履歴を 3～4 つ程度記入する。

5 精米責任者 (申請区分③、④、⑤は必ず記入、①、②は記入しない。)

氏 名	◎◎ ◎◎		
電話番号	023-456-9997	F A X	023-456-9877
住 所	〇〇市〇〇町〇番△号		
組 織 名	-	役 職	-

6 精米確認者 (申請区分③、④、⑤は必ず記入、①、②は記入しない。)

氏 名	□□ □□		
電話番号	023-457-5555	F A X	023-457-5556
住 所	〇〇市◎◎町△番〇号		
主な履歴	H5年 4月～ 年 月	就農	
	R1年 4月～ 年 月	JA〇〇地区△△部会長	

※主な履歴欄はその者の履歴を 3～4 つ程度記入する。

7 認証シール枚数

項 目	大シール	小シール	計	備 考
貼付総枚数	132	12,628	12,760	
残シール枚数	35	205	240	①実績枚数 ②最終見込み枚数
交付申請枚数	100	12,430	12,530	

※貼付総枚数は別紙 3 出荷計画、別紙 3-1 出荷販売計画、別紙 4 販売計画の枚数を記入する。

※残シール枚数の計上区分について、①又は②のいずれかに○を付す。

※交付申請枚数は10枚単位に切り上げて記入する。

8 農家数(戸)

延戸数	実戸数
55	39

9 情報開示の可否

可	否
○	

※「可」に○を付すと当センターのホームページ上の認証登録一覧に、「品目・申請組織名・代表者名・市町村名・電話番号」を掲載します。

【各責任者を組織名で表示する場合】

3 栽培責任者 (申請区分①、②、③、④は必ず記入、⑤は記入しない。)

氏 名	〇〇南部農業協同組合 営農部生産指導課 (総括：営農部次長 ◇◇ ◇◇)		
電話番号	023-456-9999	F A X	〇〇市〇〇町〇番△号
所 在 地	〇〇市〇〇町〇番△号		
組 織 名	JA〇〇 営農部	役 職	次長

※が「」で表示する

※責任者を組

責任者名を組織名で表示する場合は「所在地」とする。

代表者名又は担当部署名を、その後に()書きで総括責任者名を記入する。所在地」とすること。

4 確認責任者 (申請区分①、②、③、④は必ず記入、⑤は記入しない。)

氏 名	〇〇南部農業協同組合 営農部生産管理課 (総括：生産管理課長 ×× ××)		
電話番号	023-456-9998	F A X	023-456-9877
所 在 地	〇〇市〇〇町〇番△号		
主な履歴	S58年 4月～S63年 5月	〇〇農業協同組合営農部園芸課指導係長	
	S63年 6月～H12年 3月	〇〇農業協同組合営農部園芸課長	
	H12年 4月～H25年 4月	〇〇農業協同組合〇〇支店長	
	H25年 5月～H23年 4月	〇〇農業協同組合営農部生産管理課長	

※が「」で表示を組織名とする場合は氏名欄に組織名を、代表者名又は担当部署名を、その後に()書きで総括責任者名を記入する。

主な履歴欄はその者の履歴を3～4つ程度記入する。

※責任者名を組織名で表示する場合、「住所」は「所在地」とすること。

5 精米責任者 (申請区分③、④、⑤は必ず記入、①、②は記入しない。)

氏 名	〇〇南部農業協同組合 営農部販売管理課 (総括：販売管理課長 ◎◎ ◎◎)		
電話番号	023-456-9997	F A X	023-456-9877
所 在 地	〇〇市〇〇町〇番△号		
組 織 名	JA〇〇 営農部	役 職	販売管理課長

※責任者を組織名とする場合は氏名欄に組織名を、その後に()書きで総括責任者名を記入する。

※責任者名を組織名で表示する場合、「住所」は「所在地」とすること。

6 精米確認者 (申請区分③、④、⑤は必ず記入、①、②は記入しない。)

氏 名	〇〇南部農業協同組合 ◎◎センター (総括：センター長 □□ □□)		
電話番号	023-457-5555	F A X	023-457-5556
所 在 地	〇〇市◎◎町△番〇号		
主な履歴	H 5年 4月～H10年 3月	〇〇農業協同組合営農部稲作指導係長	
	H10年 4月～H15年 3月	〇〇農業協同組合営農部調査役	
	H15年 4月～H24年 3月	〇〇農業協同組合◎◎センター販売課長	
	H24年 4月～H24年 3月	〇〇農業協同組合◎◎センター長	

※が「」で表示を組織名とする場合は氏名欄に組織名、代表者名又は担当部署名を、その後に()書きで総括責任者名を記入する。

主な履歴欄はその者の履歴を3～4つ程度記入する。

※責任者名を組織名で表示する場合、「住所」は「所在地」とすること。

7 認証シール枚数

項 目	大シール	小シール	計	備 考
貼付総枚数	132	12,628	12,760	
残シール枚数	35	205	240	①実績枚数 ②最終見込み枚数
交付申請枚数	100	12,430	12,530	

※貼付総枚数は別紙3出荷計画、別紙3-1出荷販売計画、別紙4販売計画の枚数を記入する。

※残シール枚数の計上区分について、①又は②のいずれかに○を付す。

※交付申請枚数は10枚単位に切り上げて記入する。

8 農家数(戸)

延戸数	実戸数
55	39

9 情報開示の可否

可	否
○	

※「可」に○を付すと当センターのホームページ上の認証登録一覧に、「品目・申請組織名・代表者名・市町村名・電話番号」を掲載します。

様式第2号 ※本様式は、申請区分①、③、⑤の場合は不要です。

現場栽培責任者及び現場確認責任者の配置計画

令和8年2月15日

※申請書提出年月日、又は人事異動等により各責任者を変更した年月日を記入する。

1 現場栽培責任者及び現場確認責任者の担当する地域

担当地域：〇〇市、△△市

2 現場栽培責任者

氏 名	□□ □□	電話番号	0239-66-9999
F A X	0239-66-9998		
住 所	〇〇市〇〇丁目〇〇番〇〇号		
組 織 名	〇〇特裁米研究会	役 職	〇〇部会長

3 現場確認責任者

氏 名	×× ××	電話番号	0239-99-9876
F A X	0239-67-8899		
住 所	△△市△△丁目△△-△△		
勤 務 先	〇〇農業協同組合〇〇支店		
主な履歴	S62年 4月～H10年 5月	〇〇農業協同組合営農部米穀部営農指導課	
	H10年 6月～H22年 3月	〇〇農業協同組合営農部米穀部営農指導課主任指導員	
	H22年 4月～R 1年 5月	〇〇農業協同組合営農部米穀部営農指導課課長補佐	
	R 1年 6月～	〇〇農業協同組合〇〇支店次長(現職)	

【注】「勤務先」欄への記入は、J A等の組織申請に限る。

4 担当地域の農家数(戸)

延戸数	実戸数
10	8

※現場栽培責任者、現場確認責任者のいずれか一方を配置する場合は、もう一方の欄に斜線を引くか、氏名欄に「配置なし」と記入する。

※配置人数が多い場合は、本様式における所定事項を網羅した一覧表形式として差し支えない。

令和 8 年 特別栽培農産物認証申請 生産者等集計一覧表

自動計算のセル

品種・作物名／集計区分		〇〇市 (①型)	△△市 (②型)	□□町 (①型)	××町 (②型)	◇◇村 (③型)							計
現場確認責任者名		×× ××	×× ××	〇〇 〇〇	△△ △△	□□ □□							
つや姫	栽培面積(a)	279.8	127.9										407.7
	延戸数	6	4										10
	ほ場数	9	4										13
はえぬき	栽培面積(a)			1,234.0	987.0								2,221.0
	延戸数			10	13								23
	ほ場数			55	47								102
コシヒカリ	栽培面積(a)		500.0	345.0		1,323.0							2,168.0
	延戸数		4	6		3							13
	ほ場数		20	14		46							80
ササニシキ	栽培面積(a)				1,070.0	1,100.0							2,170.0
	延戸数				3	6							9
	ほ場数				40	43							83
	栽培面積(a)												0.0
	延戸数												
	ほ場数												
	栽培面積(a)												0.0
	延戸数												
	ほ場数												
	栽培面積(a)												0.0
	延戸数												
	ほ場数												
	栽培面積(a)												0.0
	延戸数												
	ほ場数												
計	栽培面積(a)	279.8	627.9	1,579.0	2,057.0	2,423.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6,966.7
	延戸数	6	8	16	16	9							55
	実戸数	6	4	10	13	6							39
	ほ場数	9	24	69	87	89							278

※集計一覧表の作成を要する条件：①JA等の申請で、支所支店単位で複数の現場確認責任者等を配置する場合、②生産者が複数の市町村に所在する場合、

③生産者並びに作物区分が多岐にわたり別紙 1 からの集計を補完する必要があると判断される場合。

※集計の第 1 キーは「生産者の所在市町村」とすること。

※農家実戸数は栽培面積の最も大きい作物でカウントする。なお、分類集計に時間を要する場合等は計欄に一括記入しても差し支えない。

※多品種により 1 枚で集計しきれない場合は、「計行の前に行コピー ⇒ 計欄の計算式修正」を行って、2 ページにわたる集計を行う。

生産者名等

作物・作型 品 種	生産者名	生産者住所	生産ほ場所在地	栽培面積 (a)	ほ場番号 (新規に○)	ほ場確認 (備考)
水稻 つや姫 ①	山形 次郎	〇〇市〇〇町〇ー〇	〇〇市〇〇町大字〇〇1234番	30.5	1	<div> <div>番号の脇に○を 付してもよい</div> </div>
	米田 実	〇〇市〇〇町〇〇ー〇	〇〇市〇〇町大字〇〇1235番	30.0	2	
	仁志 一郎	〇〇市〇〇町〇ー〇	〇〇市〇〇町大字〇〇1236番	29.8	3	
	清水 太郎	〇〇市〇〇町〇〇〇	〇〇市〇〇町大字〇〇2233番	45.0	④	
	高橋 三郎	〇〇市〇〇町〇ー〇	〇〇市〇〇町大字〇〇2234番	35.0	5	
	松井 五郎	〇〇市〇〇町〇〇ー〇	〇〇市〇〇町大字〇〇2235番	30.0	6 ○	
	以下の生産ほ場が同一生産者の場合は 生産者名と生産者住所の記載を省略できる。		〇〇市〇〇町大字〇〇2236番	30.0	7	
			〇〇市〇〇町大字〇〇2237番	39.5	8	
			〇〇市〇〇町大字〇〇2237番	10.0	9	
小 計	延戸数 6 戸	同一地番でも畦畔で区切られていれば 生産ほ場は二つである。		a 279.8	ほ場数 9	確認ほ場数
水稻 つや姫 ②	北田 二郎	△△市〇〇町〇ー〇	△△市〇〇町大字〇〇350番	45.0	10	
	清水 静夫	△△市〇〇町〇〇〇	△△市〇〇町大字××880番	37.0	11	
	緑町 次郎	△△市〇〇町△△△	△△市〇〇町大字△△125	30.0	12	
	風間 五郎	△△市△△町△△△ー〇	△△市△△町大字999-1 △△市△△町大字999-2	15.9	13	
小 計	延戸数 4 戸	異なる地番でも畦畔で区 切られていなければ生産 ほ場は一つである。		a 127.9	ほ場数 4	確認ほ場数
品種計	延戸数10戸			a 407.7	ほ場数 13	確認ほ場数
水稻 はえぬき①	〇〇 ××	□□市□□町□ー□	□□市□□町大字□□500番	50.0	14	
小 計	延戸数10戸			a 1,234.0	ほ場数 55	確認ほ場数
水稻 はえぬき②	△△ 〇〇	××市××町×ー×	××市××町大字××150番	75.0	69	
小 計	延戸数13戸			a 987.0	ほ場数 47	確認ほ場数
品種計	延戸数23戸			a 2,221.0	ほ場数 102	確認ほ場数
合 計	延戸数 55戸 実戸数 39戸			a 6,966.7	ほ場数 278	確認ほ場数

n/N

ページ番号を記載すること

※作物・作型・品種欄は、適用される別紙2生産計画毎に小計を取るよう記載する。

※ほ場番号は申請全ほ場の通し番号を原則とする。現地検査はほ場番号で確認します。新規申請ほ場はほ場番号を丸で囲むこと。

※延戸数は作物・作型・品種毎の生産者数を計上、実戸数はこれらから重複生産者を除いた実数を計上すること。

※広域生産地域、多品種申請にあっては、別紙1ー1による集計一覧表を作成し、本表の前に添付すること。

令和 8 年 生 産 計 画

※ 同一品種で複数の生産計画を設定している場合は、
ガイドライン表示との関係を記入する。

備 考 つや姫① GLパターン: つ①

栽培責任者 ※2		確認責任者 ※2		現地等確認欄 ※3				生産実績確認欄 ※4				
所在地: ○○市○○町○番△号 氏名: ○○南部農業協同組合営農部生産指導課(○○○○) TEL: 023-456-9999		所在地: ○○市○○町○番△号 氏名: ○○南部農業協同組合営農部生産管理課(××××) TEL: 023-456-9998		ほ場確認 令和 年 月 日 確認責任者 栽培管理 令和 年 月 日 確認責任者 状況確認				令和 年 月 日 確認責任者				

作物、作型 (品種) (面積) (収量) ※1	作業状況 ※5		使 用 資 材															
			施肥・土づくり						病害虫・雑草防除等				その他資材					
	作業名	月 日	名 称 (N-P-K%)	化学由 来N%	10a当たり使用量		使用時期		名 称 (成分名)	希釈倍率 (実績)	散布量 (実績)	使用方法 (実績)	使用時期 (実績)	名称及び 使用方法				
					現物量	化学由 来N量	計画	実績										
作物・品種 水稻 つや姫 ① 面積(a) 279.8 収量 (kg/10a) 540	収穫終了	10/15	育 苗	○○培土 (1.8-1.8-1.8g/箱)	9.7	1.8g/箱*24箱	44g	44g	4/20	温湯浸法 又は テクリートCフロアブル (水酸化第二銅・ イソコナゾール)	200倍	50g/箱	種子浸漬 60℃15分	4/1				
	播種	4/20				肥料の入っていない培土 の場合にも記載する							4/20	24時間 種子浸漬		4/1		
						培土の化学由来Nは、10a当たり使用量の欄 に記載し、この欄は空欄とする												
	移植	5/20	本 田 ・ 本 畑	○○太郎 (0-6-0)	0.0	60kg	0.00	4/15	ブイグットフェルテラ粒剤 (チアシニル、クロラントラニリブロール)				-	育苗箱の上か ら均一に散布		5/19		
						ダテユキベレット (3.5-3.5-2)	0.0	45kg	0.00				4/15	ピクトリーZ1キロ粒剤 (ピラクロニル、プロピリスルホン)		-	湛水散布	5/22
						つや姫特栽 すご稲200 (12-10-10)	5.9	55kg	3.25				4/30	フローアップ1キロ粒剤 (ダイメロン、ヘキサスラム)		-	湛水散布	6/30
	収穫	10/1				小 計	3.25 kg		アミスタートレボンSE (アゾキストロビン、 エトフェンプロックス)				8倍	800mℓ/10a		無人ヘリ散布	7/27	
									スタークル液剤10 (ジメテフラン)				8倍	0.8ℓ/10a		無人ヘリ散布	8/20	
									この欄には、農薬登録されている 資材のみを記載する				0回の場合も「0」 を記載する					
				慣行レベルの窒素成分量 7.12 kg		合 計	化学肥料由来の窒素成分量 3.31 kg 慣行対比 5 削減		慣行レベルの成分回数 20 回				合計: 10 回 うち殺菌 3回、殺虫 3回、除草 4回、その他 0回 慣行対比 5 削減					

※1 慣行レベルの表の「品目名・作型等」ごとに作成する。同一慣行レベルの品種をまとめて作成してもよい。この際には品種、面積、収量を数段にして記載する。

※2 各責任者名を組織名で表示する場合、「住所」は「所在地」とすること。

※3 確認責任者は、ほ場確認、栽培管理状況確認を行い、その内容について適正と確認した場合に、確認年月日、氏名を記入すること。

※4 確認責任者は、生産実績の内容について適正と確認した場合に、確認年月日、氏名を記入すること。

※5 作業状況欄には、施肥、防除以外の主な作業を記入すること。

令和 8 年 出 荷 計 画（出 荷 実 績）

								出荷実績確認欄 ※5		
								令和 年 月 日		
								確認責任者		
作物及び作型 （品種）※1	出 荷 期 間	形 態 別 出 荷 数（上段：包装単位の重量、下段：出荷袋等の数）						出荷量計 ※2	出荷先 ※2※3 （団体等所在地）	認証シール 使用枚数 ※4
		フレコン(kg)	バラ(kg)	束(kg)	箱(kg)	袋(kg)	その他			
水稻 つや姫①	10月5日 ～11月30日	(1,080kg) 3	※ 包装単位が同一の場合は最上段のみの記入で差し支えない。			(30kg) 402		15,300	J A〇〇 (〇〇市)	大 3 枚 小 402 枚
水稻 つや姫②	10月5日 ～11月30日					225		6,750	- 未定 -	大 枚 小 225 枚
水稻 つや姫②	10月5日 ～11月30日					5		150	自家消費米	大 枚 小 枚
水稻 はえぬき①	10月5日 ～11月30日	24				1,356		66,600	J A〇〇 (〇〇市)	大 24 枚 小 1,356 枚
水稻 はえぬき②	10月5日 ～11月30日	8				1,487		53,250	- 未定 -	大 8 枚 小 1,487 枚
水稻 コシヒカリ	10月5日 ～11月30日	55				1,920		117,000	J A〇〇 (〇〇市)	大 55 枚 小 1,920 枚
水稻 ササニシキ	10月5日 ～11月30日	50				2,100		117,000	米商〇〇 (〇〇県△△市)	大 50 枚 小 2,100 枚
水稻 ササニシキ	10月5日 ～11月30日					5		150	自家消費米	大 枚 小 枚
		※ 出荷量は「栽培面積×10a当り収穫量」で求められる数量とほぼ一致すること。 （自家消費米、縁故販売米等についても、総量管理の視点から全て含めて計上し、実績報告で詳細を明らかにする。）								大 枚 小 枚
										大 枚 小 枚
		※ 一定の束や小分け袋を箱で出荷し箱単位に認証シールを使用する場合は箱欄に「〇kg×〇束(袋)入り」と記入する。 （この場合、店頭において束や袋単位で消費者に販売される場合はガイドライン表示方法に注意すること。）								大 枚 小 枚
計	袋数(上段) 出荷量(下段)	140 151,200				7,500 225,000		376,200		大 140 枚 小 7,490 枚

※1 同じ作物で作型が異なる場合は、作型毎に記入する。
※2 総出荷量をkg単位記入すること。また、申請時に出荷先未定の場合は「出荷先」欄は「未定」と記入する。
※3 出荷（販売）先は、申請者自らとしてはならない。自己加工原料向けについては、その旨を記入する。
※4 認証シール使用枚数は、全ての貼付枚数を記入する。
※5 実績報告書の提出時は、出荷実績について確認し適正と認めた場合に、最終確認年月日、確認責任者氏名を記入すること。

令和 8 年 出 荷 販 売 計 画 （ 出 荷 販 売 実 績 ）														出荷販売実績確認欄 ※7											
														令和 年 月 日				確認責任者 精米確認者							
														(上段:袋数、下段kg)											
作物及び作型 (品種)※1	出荷販売期間	玄米生産量(生産計画から算出) ※2				形態別出荷販売数（玄米生産量を出荷形態別に振分ける） ※3								出荷販売量(kg) ※4											
		形態	kg/袋	袋数	数量	表示区分 フルコン(1080kg)	袋(30kg)	袋(10kg)	袋(5kg)	袋(2kg)	袋(kg)	袋(kg)	玄米	精米											
水稻 つや姫①	10月5日 ～11月30日	フレコン	1,080	3	3,240	特裁玄米	3							3 3,240	JA〇〇 (〇〇市)	大 小	3 枚 枚								
水稻 つや姫①	10月5日 ～11月30日	紙袋	30	402	12,060	特裁玄米		402						402 12,060	JA〇〇 (〇〇市)	大 小	枚 402 枚								
水稻 つや姫②	10月5日 ～11月30日	紙袋	30	225	6,750	特裁玄米		225						225 6,750	未定	大 小	枚 225 枚								
水稻 つや姫②	10月5日 ～11月30日	紙袋	30	5	150			5						5 150	自家消費米	大 小	枚 枚								
水稻 はえぬき①	10月5日 ～11月30日	フレコン	1,080	24	25,920	特裁玄米	24							24 25,920	JA〇〇 (〇〇市)	大 小	24 枚 枚								
水稻 はえぬき①	10月5日 ～11月30日	紙袋	30	1,356	40,680	特裁玄米		1,356						1,356 40,680	JA〇〇 (〇〇市)	大 小	枚 1,356 枚								
水稻 はえぬき②	10月5日 ～11月30日	フレコン	1,080	8	8,640	特裁精米			778					778 7,780	㈱〇〇米店 (〇〇都〇〇区)	大 小	枚 778 枚								
水稻 はえぬき②	10月5日 ～11月30日	紙袋	30	712	21,360	特裁精米		1,922						1,922 19,220	㈱〇〇米店 (〇〇都〇〇区)	大 小	枚 1,922 枚								
水稻 はえぬき②	10月5日 ～11月30日	紙袋	30	775	23,250	特裁玄米 (小分け)		1,400	1,400	1,125				3,925 23,250	㈱〇〇米店 (〇〇都〇〇区)	大 小	枚 3,925 枚								
水稻 コシヒカリ	10月5日 ～11月30日	フレコン	1,080	55	59,400	特裁玄米	55							55 59,400	JA〇〇 (〇〇市)	大 小	55 枚 枚								
水稻 コシヒカリ	10月5日 ～11月30日	紙袋	30	1,920	57,600	特裁玄米		1,920						1,920 57,600	JA〇〇 (〇〇市)	大 小	枚 1,920 枚								
水稻 ササニシキ	10月5日 ～11月30日	フレコン	1,080	50	54,000	特裁玄米	50							50 54,000	㈱〇〇米商 (□□県◇◇市)	大 小	50 枚 枚								
水稻 ササニシキ	10月5日 ～11月30日	紙袋	30	2,100	63,000	特裁玄米		2,100						2,100 63,000	㈱〇〇米商 (□□県◇◇市)	大 小	枚 2,100 枚								
水稻 ササニシキ	10月5日 ～11月30日	紙袋	30	5	150			5						5 150	自家消費米	大 小	枚 枚								
計						袋数	132	6,013	4,100	1,400	1,125			10,070	2,700		大	132 枚							
						数量	142,560	180,390	41,000	7,000	2,250			346,200	27,000		小	12,628 枚							

※1 同一作物で作型・品種が異なる場合は、作型品種毎及び出荷販売の形態別、出荷販売先別に記入する。
※2 玄米生産量欄は「栽培面積×10a当り収穫量」を基本として記入する。
※3 形態別出荷販売数欄の「袋(kg)」は実態に則した容量に訂正して記入する。
※4 上段には出荷販売袋数等の計、下段には出荷販売量の計を記入する。
※5 申請時に出荷販売先未定の場合、出荷販売先欄は「未定」と記入する。
※6 認証シール使用枚数は、全ての貼付枚数を記入する。
※7 実績報告書の提出時は、出荷実績について確認し適正と認めた場合に、最終確認年月日、確認責任者氏名を記入する。
※8 出荷販売計画の変更、認証ｼｰﾙ追加交付依頼、実績報告書の提出にあたっては、変更前・変更後を別葉で提出して差し支えない。
※9 記載行が不足する場合は複数ページで作成し、最終ページ以外は「計」をページ毎の「小計」に訂正する。

令和 8 年 販 売 計 画

販売実績確認欄 ※4			
令和 年 月 日			
精米確認者			

作物・作型 品 種	入 荷 先 等		形態別入荷数			入荷量計 (kg)	販売期間	形態別販売数			販売量計 (kg)	認証シール 使用枚数 ※3			
	入荷先※1※2 (認証登録者名)	入荷時期	形 態	kg／袋	袋 数			形 態	kg／袋	袋数					
														ガイドライン表示	
水稻 はえぬき②	JA〇〇特裁米研究会 はえぬき②空散タイプ	10月5日 ～11月30日	フレコン	1080kg	8	30,000	10.10 ～ 9.30	ビニル袋 (精米)	10kg	2,700	27,000	大 小	2,700 枚 枚		
水稻 はえぬき②	JA〇〇特裁米研究会 はえぬき②空散タイプ	10月5日 ～11月30日	紙袋	30kg	712									23,250	10.10 ～9.30
	※認証登録者名を必ず記入する。 ※認証登録者に複数の生産パターンがある場合はガイドライン表示のパターン区分も記入する。											大 小	枚 枚		
			※ 玄米袋を開封し色彩選別、石抜き、小分けして玄米で販売する場合は、 形態別販売数の形態欄にその旨を注記する。											大 小	枚 枚
			※ 入荷袋をそのまま販売するものは計上してはならない。											大 小	枚 枚
												大 小	枚 枚		
												大 小	枚 枚		
												大 小	枚 枚		
計					1,495	53,250				6,625	50,250	大 小	0 6,625 枚 枚		

※1 米穀集荷業者から入荷する場合は、認証登録者名を（ ）書きで入れる。
※2 認証登録者が同一品種で複数の生産方式となっている場合は、ガイドライン表示が特定できるよう生産者名の記入、パターン名の記入など生産方式が特定できるようにする。
※3 認証シール使用枚数は、全ての貼付枚数を記入する。
※4 実績報告書の提出時は、出荷実績について確認し適正と認めた場合に、確認年月日、確認責任者氏名を記入する。
販売を主として担当する者以外の者が確認するものとする。

ガイドライン表示（個人名）

品種名 つや姫

パターン区分 パターン①

【生産出荷用】

農林水産省新ガイドラインによる表示		節減対象農薬の使用状況		
特別栽培農産物		使用資材名	用途	使用回数
節減対象農薬： 当地比 5割減		イプロナゾール	殺菌	1回
化学肥料(窒素成分)： 当地比 5割減		チアジニル	殺菌	1回
栽培責任者 ◇◇ ◇◇		クロラントラニプロール	殺虫	1回
住所 山形県〇〇市〇〇町〇番△号		ピラクロニル	除草	1回
連絡先 023-456-9999		プロピリスルフロン	除草	1回
確認責任者 ×× ××		ダイムロン	除草	1回
住所 山形県△△市●●町△番〇号		ペノキススラム	除草	1回
連絡先 023-456-9999		アゾキシストロビン	殺菌	1回
		エトフェンプロックス	殺虫	1回
		ジノテフラン	殺虫	1回

【一括表示欄】

【セット表示欄】

【精米販売用】

農林水産省新ガイドラインによる表示		節減対象農薬の使用状況		
特別栽培農産物		使用資材名	用途	使用回数
節減対象農薬： 当地比 5割減		イプロナゾール	殺菌	1回
化学肥料(窒素成分)： 当地比 5割減		チアジニル	殺菌	1回
栽培責任者 ◇◇ ◇◇		クロラントラニプロール	殺虫	1回
住所 山形県〇〇市〇〇町〇番△号		ピラクロニル	除草	1回
連絡先 023-456-9999		プロピリスルフロン	除草	1回
確認責任者 ×× ××		ダイムロン	除草	1回
住所 山形県△△市●●町△番〇号		ペノキススラム	除草	1回
連絡先 023-456-9998		アゾキシストロビン	殺菌	1回
精米確認者 □□ □□		エトフェンプロックス	殺虫	1回
住所 山形県〇〇市◎◎町△番〇号		ジノテフラン	殺虫	1回
連絡先 023-457-5555				

注1 可能な限り、実際に貼付する様式のを添付すること。

注2 名称の表示は、「特別栽培農産物」又は「特別栽培〇〇」とする。

※「〇〇」は、県が定める慣行レベルで示す品目名（水稻の場合は「米」）とする。

注3 複数の品種、複数の生産パターンで申請する場合は、生産パターンと表示内容の関連を「品種名」、「パターン区分」で明らかにすること。

注4 農薬の使用表示

農薬を全く使用していない場合

「農薬：栽培期間中不使用」

節減対象農薬以外の農薬のみを使用している場合

「節減対象農薬：栽培期間中不使用」

節減対象農薬を使用している場合

「節減対象農薬：当地比 ○割減」

この場合、節減対象農薬以外の使用資材名（成分名）は表示しない。

注5 化学肥料の使用表示

窒素成分を含む化学肥料を使用していない場合

「化学肥料(窒素成分)：栽培期間中不使用」

窒素成分を含む化学肥料を使用している場合

「化学肥料(窒素成分)：当地比 ○割減」

注6 栽培責任者、確認責任者、精米確認者の表示を個人名とする場合は「住所」、組織名とする場合は「所在地」とし、記入した内容は様式第1号(乙)と一致すること。

注7 住所、所在地は原則として「山形県」から記入すること。

注8 節減対象農薬の使用状況について、容器や包装又は票片に表示できない場合は、ホームページ等で表示を行うものとし、消費者が情報入手可能なアドレス等を一括表示枠内に掲載する。

注9 テープ、シール等による略式表示

(7)表示ガイドラインに準拠している旨の表示、(イ)特別栽培農産物の名称、(ウ)栽培責任者又は確認責任者の氏名(又は組織名)、(7)及び(イ)を除く全ての表示項目に関する情報入手方法を表示する。

詳しくは、国の表示ガイドライン別記3略式表示例を参照のこと。

注10 表示禁止事項

表示ガイドラインで示される表示事項以外の表示、「天然栽培、自然栽培」等紛らわしい用語、通常のものより優良又は有利であると誤認させる用語、当該農産物の栽培方法や品質等を誤認させる文字・イラスト・写真等、更に「無……」、「減……」等は表示枠外であっても表示してはならない。

※ 申請において実際に使用しない不用な表示枠、表示項目は削除して提出すること。

ガイドライン表示（組織名）

品種名 つや姫

パターン区分 パターン①

【生産出荷用】

農林水産省新ガイドラインによる表示		節減対象農薬の使用状況		
特別栽培農産物		使用資材名	用途	使用回数
節減対象農薬： 当地比 5割減		イプロナゾール	殺菌	1回
化学肥料(窒素成分)： 当地比 5割減		チアジニル	殺菌	1回
栽培責任者 ○○南部農業協同組合 営農部生産指導課		クロラントラニリプロール	殺虫	1回
所在地 山形県○○市○○町○番△号		ピラクロニル	除草	1回
連絡先 023-456-9999		プロピリスルフロン	除草	1回
確認責任者 ○○南部農業協同組合 営農部生産管理課		ダイムロン	除草	1回
所在地 山形県○○市○○町○番△号		ペノキススラム	除草	1回
連絡先 023-456-9999		アゾキシストロビン	殺菌	1回
		エトフェンプロックス	殺虫	1回
		ジノテフラン	殺虫	1回

【一括表示欄】

【セット表示欄】

【精米販売用】

農林水産省新ガイドラインによる表示		節減対象農薬の使用状況		
特別栽培農産物		使用資材名	用途	使用回数
節減対象農薬： 当地比 5割減		イプロナゾール	殺菌	1回
化学肥料(窒素成分)： 当地比 5割減		チアジニル	殺菌	1回
栽培責任者 ○○南部農業協同組合 営農部 生産指導課		クロラントラニリプロール	殺虫	1回
所在地 山形県○○市○○町○番△号		ピラクロニル	除草	1回
連絡先 023-456-9999		プロピリスルフロン	除草	1回
確認責任者 ○○南部農業協同組合 営農部 生産管理課		ダイムロン	除草	1回
所在地 山形県○○市○○町○番△号		ペノキススラム	除草	1回
連絡先 023-456-9998		アゾキシストロビン	殺菌	1回
精米確認者 ○○南部農業協同組合 ◎◎センター		エトフェンプロックス	殺虫	1回
所在地 山形県○○市◎◎町△番○号		ジノテフラン	殺虫	1回
連絡先 023-457-5555				

注1 可能な限り、実際に貼付する様式のことを添付すること。

注2 名称の表示は、「特別栽培農産物」又は「特別栽培○○」とする。

※「○○」は、県が定める慣行レベルで示す品目名（水稻の場合は「米」）とする。

注3 複数の品種、複数の生産パターンで申請する場合は、生産パターンと表示内容の関連を「品種名」、「パターン区分」で明らかにすること。

注4 農薬の使用表示

農薬を全く使用していない場合

「農薬：栽培期間中不使用」

節減対象農薬以外の農薬のみを使用している場合

「節減対象農薬：栽培期間中不使用」

節減対象農薬を使用している場合

「節減対象農薬：当地比 ○割減」

この場合、節減対象農薬以外の使用資材名（成分名）は表示しない。

注5 化学肥料の使用表示

窒素成分を含む化学肥料を使用していない場合

「化学肥料(窒素成分)：栽培期間中不使用」

窒素成分を含む化学肥料を使用している場合

「化学肥料(窒素成分)：当地比 ○割減」

注6 栽培責任者、確認責任者、精米確認者の表示を個人名とする場合は「住所」、組織名とする場合は「所在地」とし、記入した内容は様式第1号(乙)と一致すること。

注7 住所、所在地は原則として「山形県」から記入すること。

注8 節減対象農薬の使用状況について、容器や包装又は票片に表示できない場合は、ホームページ等で表示を行うものとし、消費者が情報入手可能なアドレス等を一括表示枠内に掲載する。

注9 テープ、シール等による略式表示

(7)表示ガイドラインに準拠している旨の表示、(4)特別栽培農産物の名称、(9)栽培責任者又は確認責任者の氏名(又は組織名)、(7)及び(4)を除く全ての表示項目に関する情報入手方法を表示する。

詳しくは、国の表示ガイドライン別記3略式表示例を参照のこと。

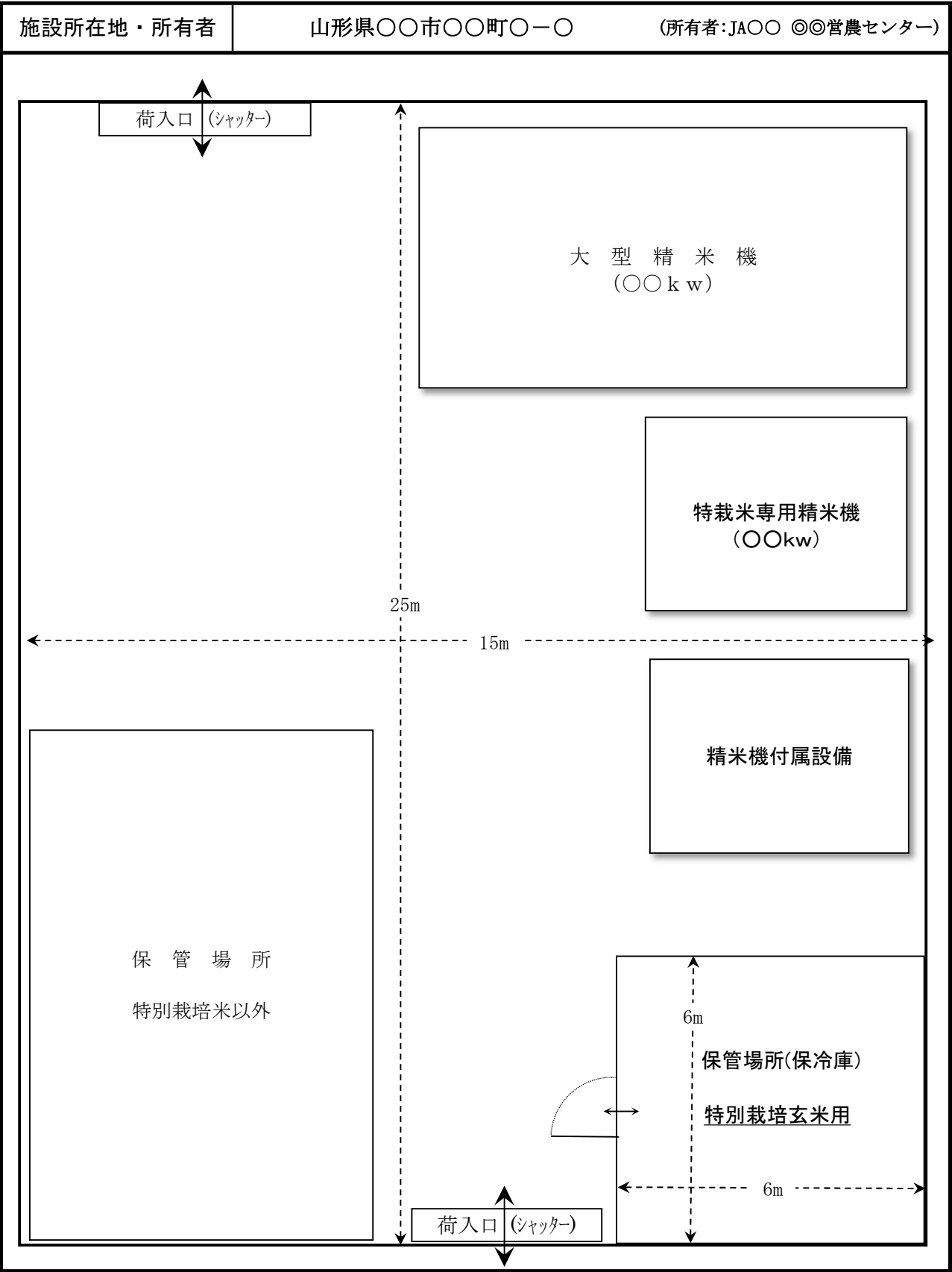
注10 表示禁止事項

表示ガイドラインで示される表示事項以外の表示、「天然栽培、自然栽培」等紛らわしい用語、通常のものより優良又は有利であると誤認させる用語、当該農産物の栽培方法や品質等を誤認させる文字・イラスト・写真等、更に「無……」、「減……」等は表示枠外であっても表示してはならない。

※ 申請において実際に使用しない不用な表示枠、表示項目は削除して提出すること。

注5 本資料は現地検査時に使用するので準備しておくこと。(申請時の提出は必要ない。)

精米施設及び保管場所等の見取り図



注1 保管場所、作業所の広さ(寸法)を示すこと。
注2 精米機等の配置が分かるように記入すること。
注3 出入口を明記すること。
注4 複数の施設を使用する計画の場合は、全ての施設について提出すること。

＜各責任者を組織名で表示する場合の記入例＞

[illegible]

※5 認証シール貼付枚数欄を設けるなどの様式変更は差し支えない。

山形県特別栽培農産物認証シール追加交付依頼書

令和8年10月15日

公益財団法人 やまがた農業支援センター
理事長 殿

申請者 生産組織等名 山形市〇〇特裁米研究会
申請(代表)者名 会長 〇〇 〇〇
住所・所在地 山形市〇〇町北〇ー〇
電話番号 023-456-7890
認証番号 山形認証(生産) R8-A888

このことについて、下記のとおり追加交付を依頼します。

記

1 交付対象品目 水稻

2 交付依頼内訳

項 目	大シール	小シール	計	備 考
本年 交付枚数	100	2,500	2,600	①
前年 残シール	5	17	22	②(依頼時の実枚数による)
小計(現在のシール在庫数)	105	2,517	2,622	③=①+②
変更 当年 使用枚数	142	3,355	3,497	④
追加交付依頼枚数	40	840	880	⑤=④-③(10枚単位切上げ)

認証後、交付された総枚数(変更届や追加交付依頼
ですでに追加シールを受けた分も反映させる)

3 追加交付の具体的理由

つや姫について、当初540kg/10aの収量を見込んだが、栽培管理・天候とも順調に
推移したことにより560kg/10a程度の収量となり、出荷数が増加するため。

添付する出荷計画および販売計
画と合計枚数が同じになること

4 希望追加交付月日 令和 8 年 10 月 25 日

5 添付書類(添付した書類の先頭に○を付す)

- 別紙2 生産計画(変更)・・・計画反収の変更による場合
○ 別紙3 出荷計画(変更)
別紙3-1 出荷販売計画(変更)
別紙4 販売計画(変更)

添付書類の作成については
(変更届)の作成を例に
見え消しでの記入を原則とする

※添付資料は変更前後が明らかに分かるよう見え消しでの記入を原則とする。
※添付資料は、認証業務規程第5条第12項に規定する「変更届」と同等の扱いを受けることから、
今回の認証シール追加交付依頼書、変更届、実績報告書の提出の際には必ず反映させること。

山形県特別栽培農産物認証登録内容の変更届

令和 8 年 8 月 2 0 日

公益財団法人 やまがた農業支援センター
理事長 殿

申請者	生産組織等名	JA〇〇特裁米研究会
	申請(代表)者名	会長 〇〇 〇〇
	住所・所在地	〇〇市〇〇町〇ー〇
	電話番号	023-456-7890
	認証番号	山形認証(生産精米) R8-A999

現地検査終了から認証登録までの間に変更届を提出する場合は
「〇月〇日付けで認証申請した内容」と記入し、申請者下段の
認証番号は空欄とする。

令和 8 年 7 月 7 日付けで認証登録された内容について、下記のとおり変更が生じました
ので、公益財団法人やまがた農業支援センター特別栽培農産物業務規程第 5 条第 1 2 項の規定に
より、関係書類を添えて提出します。

記

1 変更前後の認証内容等

変更前

栽培面積 6,966.7a うち、つや姫① 279.8a

変更後

栽培面積 6,896.7a うち、つや姫① 209.8a

2 変更理由

生産ほ場No.〇～〇、〇（栽培品種：つや姫①）において、〇〇病の発生が確認されその拡大を最小限に抑えるため、〇〇剤を追加散布する必要があると判断した。
この結果、節減対象農薬の節減割合が 5 割未満になることから、当該ほ場について特別栽培米の表示を取りやめることとし、栽培面積 70.0a を減じるものである。
なお、認証シール(小) 133 枚が余剰となるが、実績報告で残シールとして報告します。

3 関係書類(添付した書類の先頭に○を付す)

様式第 1 号の乙（認証シールの増、残シール枚数を変更する場合）

- 別紙 1 生産者名等
- 別紙 1-1 生産者等集計一覧表
- 別紙 2 生産計画（つや姫①）
- 別紙 3 出荷計画
- 別紙 3-1 出荷販売計画
- 別紙 4 販売計画
- 付表 2 精米施設及び保管場所等の見取り図
- ガイドライン表示（写）

面積・品種の変更、ほ場の削除追加等は、
見え消しでの記載を原則とし、それが困難
な場合は一覧表に整理する。

令和 8 年 特別栽培農産物認証申請 生産者等集計一覧表（変更）

自動計算のセル

品種・作物名／集計区分		〇〇市 (①型)	〇〇市 (①型)	△△市 (②型)	□□町 (①型)	××町 (②型)	◇◇村 (③型)						計
現場確認責任者名		××-××(変更前)	×× ××(変更後)	×× ××	〇〇 〇〇	△△ △△	□□ □□						
つや姫	栽培面積(a)	279.8	209.8	127.9									337.7
	延戸数	6	6	4									10
	ほ場数	9	6	4									10
はえぬき	栽培面積(a)				1,234.0	987.0							2,221.0
	延戸数				10	13							23
	ほ場数				55	47							102
コシヒカリ	栽培面積(a)			500.0	345.0		1,323.0						2,168.0
	延戸数			4	6		3						13
	ほ場数			20	14		46						80
ササニシキ	栽培面積(a)					1,070.0	1,100.0						2,170.0
	延戸数					3	6						9
	ほ場数					40	43						83
	栽培面積(a)												0.0
	延戸数												
	ほ場数												
	栽培面積(a)		※ 変更前後が明らかに分かるように見え消しでの記入を原則とする。										0.0
	延戸数		計欄は変更後の記入のみで差し支えない。										
	ほ場数												
	栽培面積(a)												0.0
	延戸数												
	ほ場数												
	栽培面積(a)												0.0
	延戸数												
	ほ場数												
計	栽培面積(a)	279.8	209.8	627.9	1,579.0	2,057.0	2,423.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6,896.7
	延戸数	6	6	8	16	16	9						55
	実戸数	6	6	4	10	13	6						39
	ほ場数	9	6	24	69	87	89						275

※集計一覧表の作成を要する条件：①JA等の申請で、支所支店単位で複数の現場確認責任者等を配置する場合、②生産者が複数の市町村に所在する場合、

③生産者並びに作物区分が多岐にわたり別紙 1 からの集計を補完する必要があると判断される場合。

※集計の第 1 キーは「生産者の所在市町村」とすること。

※農家実戸数は栽培面積の最も大きい作物でカウントする。なお、分類集計に時間を要する場合等は計欄に一括記入しても差し支えない。

※多品種により 1 枚で集計しきれない場合は、「計行の前に行コピー ⇒ 計欄の計算式修正」を行って、2 ページにわたる集計を行う。

生産者名等(変更)

作物・作型 品 種	生産者名	生産者住所	生産ほ場所在地	栽培面積 (a)	ほ場番号 (新規に○)	ほ場確認 (備考)
水稻 つや姫 ①	山形 次郎	〇〇市〇〇町〇ー〇	〇〇市〇〇町大字〇〇1234番	30.5	1	
	米田 実	〇〇市〇〇町〇〇ー〇	〇〇市〇〇町大字〇〇1235番	30.0	2	
	仁志 一郎	〇〇市〇〇町〇ー〇	〇〇市〇〇町大字〇〇1236番	29.8	3	
	清水 太郎	〇〇市〇〇町〇〇〇	〇〇市〇〇町大字〇〇2233番	45.0	④	
	高橋 三郎	〇〇市〇〇町〇ー〇	〇〇市〇〇町大字〇〇2234番	35.0	5	
	松井 五郎	〇〇市〇〇町〇〇ー〇	〇〇市〇〇町大字〇〇2235番	30.0	6 ○	削除
			〇〇市〇〇町大字〇〇2236番	30.0	7	削除
			〇〇市〇〇町大字〇〇2237番	39.5	8	
			〇〇市〇〇町大字〇〇2237番	10.0	9	削除
小 計	延戸数 6 戸			209.8 a 279.8	ほ場数 9 6	確認ほ場数
水稻 つや姫 ②	北田 二郎	△△市〇〇町〇ー〇	△△市〇〇町大字〇〇350番	45.0	10	
	清水 静夫	△△市〇〇町〇〇〇	△△市〇〇町大字××880番	37.0	11	
	緑町 次郎	△△市〇〇町△△△	△△市〇〇町大字△△125	30.0	12	
	風間 五郎	△△市△△町△△△ー〇	△△市△△町大字999-1 △△市△△町大字999-2	15.9	13	
小 計	延戸数 4 戸			a 127.9	ほ場数 4	確認ほ場数
品種計	延戸数10戸			337.7 a 407.7	ほ場数 13 10	確認ほ場数
水稻 はえぬき①	〇〇 ××	□□市□□町□ー□	□□市□□町大字□□500番	50.0	14	
小 計	延戸数10戸			a 1,234.0	ほ場数 55	確認ほ場数
水稻 はえぬき②	△△ 〇〇	××市××町×ー×	××市××町大字××150番	75.0	69	
小 計	延戸数13戸			a 987.0	ほ場数 47	確認ほ場数
品種計	延戸数23戸			a 2,221.0	ほ場数 102	確認ほ場数
合 計	延戸数 55戸 実戸数 39戸			6,896.7 a 6,966.7	ほ場数 278 275	確認ほ場数

’ n/N ページ番号を記載すること

※作物・作型・品種欄は、適用される別紙2生産計画毎に小計を取るよう記載する。
※ほ場番号は申請全ほ場の通し番号を原則とする。現地検査はほ場番号で確認します。新規申請ほ場はほ場番号を丸で囲むこと。
※延戸数は作物・作型・品種毎の生産者数を計上、実戸数はこれらから重複生産者を除いた実数を計上すること。
※広域生産地域、多品種申請にあっては、別紙1ー1による集計一覧表を作成し、本表の前に添付すること。

令和 8 年 生 産 計 画 (変更)

備 考 つや姫① GLパターン:つ①

栽培責任者 ※2		確認責任者 ※2		現地等確認欄 ※3		生産実績確認欄 ※4	
所在地: ○○市○○町○番△号		所在地: ○○市○○町○番△号		ほ場確認 令和 年 月 日 確認責任者		令和 年 月 日	
氏名: ○○南部農業協同組合営農部生産指導課(○○○○)		氏名: ○○南部農業協同組合営農部生産管理課(××××)		栽培管理 令和 年 月 日 確認責任者		確認責任者	
TEL: 023-456-9999		TEL: 023-456-9998		状況確認			

作物・作型 (品種) (面積) (収量) ※1	作業状況 ※5		使 用 資 材													
			施肥・土づくり							病害虫・雑草防除等					その他資材	
	作業名	月 日	名 称 (N-P-K%)	化学由来N%	10a当たり使用量		使用時期		名 称 (成分名)	希釈倍率 (実績)	散布量 (実績)	使用方法 (実績)	使用時期 (実績)	名称及び 使用方法		
					現物量	化学由来N量	計画	実績								
作物・品種 水稻 つや姫 ① 面積(a) 279.8 209.8 収量 (kg/10a) 540	収穫終了	10/15	育 〇〇培土 (1.8-1.8-1.8g/箱)		1.8g/箱*24箱	44g	44g	4/20	温湯浸法 又は テクリート®Cフロアブル (水酸化第二銅・ イブコナゾール)	200倍		種子浸漬 60℃15分 24時間 種子浸漬	4/1			
	播種	4/20			6g/箱*24箱	144g	14g	5/5					4/1			
	移植	5/20	苗 □□液肥 (10-4-6)	9.7	小 計		0.06 kg		ブイゲットフェルテラ粒剤 (チアジニル、クロラントラニリブロール)	-	50g/箱	育苗箱の上から 均一に散布	5/19			
					本 田 ・ 本 畑	〇〇太郎 (0-6-0)	0.0						60kg	0.00	4/15	5/22
						タデューキベレット (3.5-3.5-2)	0.0						45kg	0.00	4/15	6/30
						つや姫特栽 すご稲200 (12-10-10)	5.9						55kg	3.25	4/30	7/27
						スタークル液剤10 (ジネフラン)	8倍						0.8ℓ/10a	無人へり散布	8/20	
	収穫	10/1	小 計		3.25 kg		慣行レベルの成分回数 20 回	合計： 10 回 うち殺菌 3回、殺虫 3回、除草 4回、その他 0回 慣行対比 5 削減								
			慣行レベルの窒素成分量 7.12 kg		合 計					化学肥料由来の窒素成分量 3.31 kg 慣行対比 5 削減						

※1 慣行レベルの表の「品目名・作型等」ごとに作成する。同一慣行レベルの品種をまとめて作成してもよい。この際には品種、面積、収量を数段にして記載する。

※2 各責任者名を組織名で表示する場合、「住所」は「所在地」とすること。

※3 確認責任者は、ほ場確認、栽培管理状況確認を行い、その内容について適正と確認した場合に、確認年月日、氏名を記入すること。

※4 確認責任者は、生産実績の内容について適正と確認した場合に、確認年月日、氏名を記入すること。

※5 作業状況欄には、施肥、防除以外の主な作業を記入すること。

令和 8 年 出 荷 計 画（変更）

出荷実績確認欄 ※5			
令和 年 月 日			
確認責任者			

作物及び作型 （品種）※1	出 荷 期 間	形 態 別 出 荷 数 （上段:包装単位の重量、下段:出荷袋等の数）						出荷量計 ※2	出荷先 ※2※3 （団体等所在地）	認証シール 使用枚数 ※4	
		フレコン(kg)	バラ(kg)	束(kg)	箱(kg)	袋(kg)	その他				
水稻 つや姫①	10月5日 ～11月30日	(1,080kg) 3	※ 包装単位が同一の場合は最上段のみの 記入で差し支えない。			(30kg) 269 402		11,310 15,300	J A ○ ○ (○ ○ 市)	大 3 枚 小 269 枚	
水稻 つや姫②	10月5日 ～11月30日					225		6,750	- 未定 -	大 枚 小 225 枚	
水稻 つや姫②	10月5日 ～11月30日					5		150	自家消費米	大 枚 小 枚	
水稻 はえぬき①	10月5日 ～11月30日	24				1,356		66,600	J A ○ ○ (○ ○ 市)	大 24 枚 小 1,356 枚	
水稻 はえぬき②	10月5日 ～11月30日	8				1,487		53,250	- 未定 -	大 8 枚 小 1,487 枚	
水稻 コシヒカリ	10月5日 ～11月30日	55				1,920		117,000	J A ○ ○ (○ ○ 市)	大 55 枚 小 1,920 枚	
水稻 ササニシキ	10月5日 ～11月30日	50				2,100		117,000	㈱○○米商 (○ ○ 県 △ △ 市)	大 50 枚 小 2,100 枚	
水稻 ササニシキ	10月5日 ～11月30日					5		150	自家消費米	大 枚 小 枚	
										大 枚 小 枚	
		※ 形態別出荷数、出荷量計欄について変更前後が明らかに分かるように見え消しでの記入を原則とする。 認証シール使用枚数欄は変更後のみの記入で差し支えない。								大 枚 小 枚	
										大 枚 小 枚	
計	袋数(上段)	140				7,367 7,500					
	出荷量(下段)	151,200				221,010 225,000		372,210 376,200		大 140 枚 小 7,357 枚	

※1 同じ作物で作型が異なる場合は、作型毎に記入する。
※2 総出荷量をkg単位記入すること。また、申請時に出荷先未定の場合は「出荷先」欄は「未定」と記入する。
※3 出荷（販売）先は、申請者自らとしてはならない。自己加工原料向けについては、その旨を記入する。
※4 認証シール使用枚数は、全ての貼付枚数を記入する。
※5 実績報告書の提出時は、出荷実績について確認し適正と認めた場合に、最終確認年月日、確認責任者氏名を記入すること。

令和8年出荷販売計画(変更)

令和8年 出荷販売計画（変更）														出荷販売実績確認欄 ※7				
														令和 年 月 日			確認責任者	精米確認者
作物及び作型 （品種）※1	出荷販売期間	玄米生産量（生産計画から算出） ※2				形態別出荷販売数（玄米生産量を出荷形態別に振分ける） ※3								（上段：袋数、下段kg）		※5 出荷販売先 （販売店等所在地）	※6 認証シール 使用枚数	備考
		形態	kg/袋	袋数	数量	表示区分 75% (1000kg)	袋(30kg)	袋(10kg)	袋(5kg)	袋(2kg)	袋(kg)	袋(kg)	玄米	精米				
水稻 つや姫①	10月5日 ～11月30日	フレコン	1,080	3	3,240	特裁玄米	3						3 3,240	JA〇〇 （〇〇市）	大 3 枚 小 枚			
水稻 つや姫①	10月5日 ～11月30日			269	11,310			269					269 402 8,070 12,060	JA〇〇 （〇〇市）	大 枚 小 269 枚			
水稻 つや姫②	10月5日 ～11月30日	紙袋	30	225	6,750	特裁玄米		225					225 6,750	未定	大 枚 小 225 枚			
水稻 つや姫②	10月5日 ～11月30日	紙袋	30	5	150			5					5 150	自家消費米	大 枚 小 枚			
水稻 はえぬき①	10月5日 ～11月30日	フレコン	1,080	24	25,920	特裁玄米	24						24 25,920	JA〇〇 （〇〇市）	大 24 枚 小 枚			
水稻 はえぬき①	10月5日 ～11月30日	紙袋	30	1,356	40,680	特裁玄米		1,356					1,356 40,680	JA〇〇 （〇〇市）	大 枚 小 1,356 枚			
水稻 はえぬき②	10月5日 ～11月30日	フレコン	1,080	8	8,640	特裁精米			778				778 7,780	㈱〇〇米店 （〇〇都〇〇区）	大 枚 小 778 枚			
水稻 はえぬき②	10月5日 ～11月30日	紙袋	30	712	21,360	特裁精米			1,922				1,922 19,220	㈱〇〇米店 （〇〇都〇〇区）	大 枚 小 1,922 枚			
水稻 はえぬき②	10月5日 ～11月30日	紙袋	30	775	23,250	特裁玄米 （小分付）			1,400	1,400	1,125		3,925 23,250	㈱〇〇米店 （〇〇都〇〇区）	大 枚 小 3,925 枚			
水稻 コシヒカリ	10月5日 ～11月30日	フレコン	1,080	55	59,400	特裁玄米	55						55 59,400	JA〇〇 （〇〇市）	大 55 枚 小 枚			
水稻 コシヒカリ	10月5日 ～11月30日	紙袋	30	1,920	57,600	特裁玄米		1,920					1,920 57,600	JA〇〇 （〇〇市）	大 枚 小 1,920 枚			
水稻 ササニシキ	10月5日 ～11月30日	フレコン	1,080	50	54,000	特裁玄米	50						50 54,000	㈱〇〇米商 （□□県◇◇市）	大 50 枚 小 枚			
水稻 ササニシキ	10月5日 ～11月30日	紙袋	30	2,100	63,000	特裁玄米		2,100					2,100 63,000	㈱〇〇米商 （□□県◇◇市）	大 枚 小 2,100 枚			
水稻 ササニシキ	10月5日 ～11月30日	紙袋	30	5	150			5					5 150	自家消費米	大 枚 小 枚			
計				7,507 7,640	375,450 376,200	袋数	132	5,880 6,013 176,400	4,100	1,400	1,125		9,937 10,070 342,210	2,700	/	大 132 枚		
						数量	142,560	140,390	41,000	7,000	2,250		346,200 27,000			小 12,495 枚		

※1 同一作物で作型・品種が異なる場合は、作型品種毎及び出荷販売の形態別、出荷販売先別に記入する。
※2 玄米生産量欄は「栽培面積×10a当り収穫量」を基本として記入する。
※3 形態別出荷販売数欄の「袋(kg)」は実態に則した容量に訂正して記入する。
※4 上段には出荷販売袋数等の計、下段には出荷販売量の計を記入する。
※5 申請時に出荷販売先未定の場合、出荷販売先欄は「未定」と記入する。
※6 認証シール使用枚数は、全ての貼付枚数を記入する。
※7 実績報告書の提出時は、出荷実績について確認し適正と認めた場合に、最終確認年月日、確認責任者氏名を記入する。
※8 出荷販売計画の変更、認証シール追加交付依頼、実績報告書の提出にあたっては、変更前・変更後を別葉で提出して差し支えない。
※9 記載行が不足する場合は複数ページで作成し、最終ページ以外に「計」をページ毎の「小計」に訂正する。

山形県特別栽培農産物認証実績報告書

令和 9 年 1 月 3 1 日

公益財団法人 やまがた農業支援センター
理事長 殿

申請者 生産組織等名 JA〇〇特裁米研究会
申請(代表)者名 会長 〇〇 〇〇
住所・所在地 〇〇市〇〇町〇ー〇
電話番号 023-456-7890

このことについて、公益財団法人やまがた農業支援センター特別栽培農産物認証業務規程第11条の規定により、関係資料を添えて報告します。

1 認証番号

山形認証(生産精米) R 8 - A 9 9 9

この作成例は精米販売が継続中の「生産精米認証」の例であり、「生産」で認証を受けた場合は、出荷終了後1ヶ月以内に提出しなければならない(認証業務規程第11条)

2 報告区分

確定(最終)		中 間	R8. 12. 31
--------	--	-----	------------

※確定(最終)の場合は「〇」、中間の場合は「報告基準日」をそれぞれの右欄に記入する。

3 認証シール使用枚数

認証後、交付された総枚数(変更届や追加交付依頼書で追加シールの交付を受けた分も反映させる)

項 目	大シール	小シール	計
(1) 当年 交付枚数	140	3, 340	3, 480
(2) 前年 残シール	5	17	22
(3) 当年 使用枚数	102	3, 024	3, 126
(4) 当年 残シール枚数	43	333	376
(5) 残シール番号 (別紙でも可)	B007718 ~B007760	aa011878 ~aa012210	

添付する出荷実績および販売実績と合計枚数が同じになること

4 当年残シールの取り扱い(残シールなしの場合は記入不要)

い ず れ か に 〇	〇	残シールは、適正に管理し次年に使用します
		残シールを返納しますので、確認のうえ処分願います
		残シール 枚を 月 日に下記により処分しました [処分場所: 処分方法: 確認者:]

5 関係書類(添付した資料の先頭に〇を付す)

- 〇 別紙1 生産者名等
別紙1-1 生産者等集計一覧表
- 〇 別紙2 生産実績
別紙3 出荷実績
- 〇 別紙3-1 出荷販売実績
別紙4 販売実績(精米販売の場合)
- 〇 ガイドライン表示
(貼付した現物(コピー可)を添付すること。)

認証登録内容と実績内容を対比し変更箇所を明らかにすること。

令和 8 年 特別栽培農産物認証申請 生産者等集計一覧表（実績）

自動計算のセル

品種・作物名／集計区分		〇〇市 (①型)	△△市 (②型)	□□町 (①型)	××町 (②型)	◇◇村 (③型)							計
現場確認責任者名		×× ××	×× ××	〇〇 〇〇	△△ △△	□□ □□							
つや姫	栽培面積(a)	209.8	127.9										337.7
	延戸数	6	4										10
	ほ場数	6	4										10
はえぬき	栽培面積(a)			1,234.0	987.0								2,221.0
	延戸数			10	13								23
	ほ場数			55	47								102
コシヒカリ	栽培面積(a)		500.0	345.0		1,323.0							2,168.0
	延戸数		4	6		3							13
	ほ場数		20	14		46							80
ササニシキ	栽培面積(a)				1,070.0	1,100.0							2,170.0
	延戸数				3	6							9
	ほ場数				40	43							83
	栽培面積(a)												0.0
	延戸数												
	ほ場数												
	栽培面積(a)					※ 面積の変更については「変更届」で処理する。							0.0
	延戸数					よって、実績報告書における本表は認証シール欄のみ実績報告枚数を記入する。							
	ほ場数												
	栽培面積(a)												0.0
	延戸数												
	ほ場数												
	栽培面積(a)												0.0
	延戸数												
	ほ場数												
計	栽培面積(a)	209.8	627.9	1,579.0	2,057.0	2,423.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6,896.7
	延戸数	6	8	16	16	9							55
	実戸数	6	4	10	13	6							39
	ほ場数	6	24	69	87	89							275

※集計一覧表の作成を要する条件：①JA等の申請で、支所支店単位で複数の現場確認責任者等を配置する場合、②生産者が複数の市町村に所在する場合、

③生産者並びに作物区分が多岐にわたり別紙 1 からの集計を補完する必要があると判断される場合。

※集計の第 1 キーは「生産者の所在市町村」とすること。

※農家実戸数は栽培面積の最も大きい作物でカウントする。なお、分類集計に時間を要する場合等は計欄に一括記入しても差し支えない。

※多品種により 1 枚で集計しきれない場合は、「計行の前に行コピー ⇒ 計欄の計算式修正」を行って、2 ページにわたる集計を行う。

生産者名等（実績）

作物・作型 品 種	生産者名	生産者住所	生産ほ場所在地	栽培面積 (a)	ほ場番号 (新規に○)	ほ場確認 (備考)
水稲 つや姫 ①	山形 次郎	〇〇市〇〇町〇ー〇	〇〇市〇〇町大字〇〇1234番	30.5	1	
	米田 実	〇〇市〇〇町〇〇ー〇	〇〇市〇〇町大字〇〇1235番	30.0	2	
	仁志 一郎	〇〇市〇〇町〇ー〇	〇〇市〇〇町大字〇〇1236番	29.8	3	
	清水 太郎	〇〇市〇〇町〇〇〇	〇〇市〇〇町大字〇〇2233番	45.0	④	
	高橋 三郎	〇〇市〇〇町〇ー〇	〇〇市〇〇町大字〇〇2234番	35.0	5	
	松井 五郎	〇〇市〇〇町〇〇ー〇	〇〇市〇〇町大字〇〇2237番	39.5	8	
面積の変更は「変更届」で処理することを原則とする。 よって、実績報告書に「別紙1－1生産者等集計一覧表」を添付したもので、栽培面積に変更が無い場合は、 本表の添付を省略して差し支えない。						
小 計	延戸数6戸			a 209.8	ほ場数 6	確認ほ場数
水稲 つや姫 ②	北田 二郎	△△市〇〇町〇ー〇	△△市〇〇町大字〇〇350番	45.0	10	
	清水 静夫	△△市〇〇町〇〇〇	△△市〇〇町大字××880番	37.0	11	
	緑町 次郎	△△市〇〇町△△△	△△市〇〇町大字△△125	30.0	12	
	風間 五郎	△△市△△町△△△ー〇	△△市△△町大字999-1 △△市△△町大字999-2	15.9	13	
小 計	延戸数4戸			a 127.9	ほ場数 4	確認ほ場数
品種計	延戸数10戸			a 337.7	ほ場数 10	確認ほ場数
水稲 はえぬき①	〇〇 ××	□□市□□町□ー□	□□市□□町大字□□500番	50.0	14	
小 計	延戸数10戸			a 1,234.0	ほ場数 55	確認ほ場数
水稲 はえぬき②	△△ 〇〇	××市××町×ー×	××市××町大字××150番	75.0	69	
小 計	延戸数13戸			a 987.0	ほ場数 47	確認ほ場数
品種計	延戸数23戸			a 2,221.0	ほ場数 102	確認ほ場数
合 計	延戸数 55戸 実戸数 39戸			a 6,896.7	ほ場数 275	確認ほ場数

’ n/N ページ番号を記載すること

※作物・作型・品種欄は、適用される別紙2生産計画毎に小計を取るよう記載する。
※ほ場番号は申請全ほ場の通し番号を原則とする。現地検査はほ場番号で確認します。新規申請ほ場はほ場番号を丸で囲むこと。
※延戸数は作物・作型・品種毎の生産者数を計上、実戸数はこれらから重複生産者を除いた実数を計上すること。
※広域生産地域、多品種申請にあっては、別紙1－1による集計一覧表を作成し、本表の前に添付すること。

令和 8 年 生 産 実 績

※ 同一品種で複数の生産実績がある場合は、
ガイドライン表示との関係を記入する。

備 考 つや姫① GLパターン:つ①

栽培責任者 ※2		確認責任者 ※2		現地等確認欄 ※3				生産実績確認欄 ※4			
所在地: ○○市○○町○番△号		所在地: ○○市○○町○番△号		ほ場確認 令和 8 年 4 月 15 日 確認責任者 × × × ×				令和 8 年 9 月 30 日			
氏名: ○○南部農業協同組合営農部生産指導課(○○◇◇)		氏名: ○○南部農業協同組合営農部生産管理課(××××)		栽培管理 令和 8 年 7 月 1 日 確認責任者 × × × ×				確認責任者			
TEL: 023-456-9999		TEL: 023-456-9998		状況確認				× × × ×			

作物・作型 (品種) (面積) (収量) ※1	作業状況 ※5		使 用 資 材												
			施肥・土づくり						病害虫・雑草防除等					その他資材	
	作業名	月日 (実績)	名 称 (N-P-K%)	化学由来N%	10a当たり使用量		使用時期		名 称 (成分名)	希釈倍率 (実績)	散布量 (実績)	使用方法 (実績)	使用時期 (実績)	名称及び 使用方法	
					現物量	化学由来N量	計画	実績							
作物・品種 水稻 つや姫 ① 面積(a) 209.8 収量 (kg/10a) 540 ※作業状況欄、防除資材使用時期欄について実績月日を() で記入する。	収穫終了	10/15 (10/1)	育	○○培土 (1.8-1.8-1.8g/箱)	1.8g/箱*24箱	44g	44g	4/20	4/20	温湯浸法 又は チカリトC70アフルー (水酸化第二銅・イコナゾール)	200倍		種子浸漬 60℃15分	4/1 (4/1)	
	移植	5/20 (5/16)	本	○○太郎 (0-6-0)	0.0	60kg	0.00	4/15	4/15	ヒクトリーZ1キロ粒剤 (ヒラクロニル、プロピリスルフロン)	-	1kg/10a	湛水散布	5/22 (5/20)	
															田
	本	つや姫特栽 すご稲200 (12-10-10)	5.9	55kg (50kg)	3.25 (2.95)	4/30	4/29	アミスターレボーンSE (アジキストロベーン、 エトフェンプロックス)	8倍	800ml/10a	無人ヘリ散布	7/27 (7/27)			
													畑		
	収穫	10/1 (9/27)													

※1 慣行レベルの表の「品目名・作型等」ごとに作成する。同一慣行レベルの品種をまとめて作成してもよい。この際には品種、面積、収量を数段にして記載する。※ 実績報告は変更の有無にかかわらず全ての「生産実績」を添付する。

※2 各責任者名を組織名で表示する場合、「住所」は「所在地」とすること。

※3 確認責任者は、ほ場確認、栽培管理状況確認を行い、その内容について適正と確認した場合に、確認年月日、氏名を記入すること。

※4 確認責任者は、生産実績の内容について適正と確認した場合に、確認年月日、氏名を記入すること。

※5 作業状況欄には、施肥、防除以外の主な作業を記入すること。

令和 8 年 出 荷 実 績

								出荷実績確認欄 ※5		
								令和8年12月10日		
								確認責任者 × × × ×		
作物及び作型 （品種）※1	出 荷 期 間	形 態 別 出 荷 数 （上段:包装単位の重量、下段:出荷袋等の数）						出荷量計 ※2	出荷先 ※3 （団体等所在地）	認証シール 使用枚数 ※4
		フレコン(1080kg)	バラ(kg)	束(kg)	箱(kg)	袋(30kg)	その他			
水稻 つや姫①	10月10日 ～12月10日	3				260		11,040	J A〇〇 （〇〇市）	大 3 枚 小 260 枚
水稻 つや姫②	10月10日 ～12月10日					225		6,750	㈱〇〇米店 （東京都△△区）	大 枚 小 225 枚
水稻 つや姫②	10月10日 ～12月10日					5		150	自家消費米	大 枚 小 枚
水稻 はえぬき①	10月10日 ～12月10日	24				1,360		66,720	J A〇〇 （〇〇市）	大 24 枚 小 1,360 枚
水稻 はえぬき②	10月10日 ～12月10日	8				1,490		53,340	㈱▲▲米商 （〇〇市）	大 8 枚 小 1,490 枚
水稻 コシヒカリ	10月10日 ～12月10日	55				1,910		116,700	J A〇〇 （〇〇市）	大 55 枚 小 1,910 枚
水稻 ササニシキ	10月10日 ～12月10日	50				2,100		117,000	㈱〇〇米商 （〇〇県△△市）	大 50 枚 小 2,100 枚
水稻 ササニシキ	10月10日 ～12月10日					5		150	自家消費米	大 枚 小 枚
										大 枚 小 枚
										大 枚 小 枚
										大 枚 小 枚
										大 枚 小 枚
	袋数(上段)	140				7,355				大 140
	出荷量(下段)	151,200				220,650		371,850		小 7,345 枚

※1 同じ作物で作型が異なる場合は、作型毎に記入する。
※2 総出荷量をkg単位記入すること。
※3 出荷（販売）先は、申請者自らとしてはならない。自己加工原料向けについては、その旨を記入する。
※4 認証シール使用枚数は、全ての貼付枚数を記入する。
※5 実績報告書の提出時は、出荷実績について確認し適正と認めた場合に、最終確認年月日、確認責任者氏名を記入すること。

様式第8号実績報告書の3(3)当年
使用枚数との整合確認をする(破損
等は枠外余白に記入)

令和8年 出荷販売実績

令和8年 出 荷 販 売 実 績														出荷販売実績確認欄 ※7							
														令和 8年 12月 31日				確認責任者 ××××			
														精米確認者 □□□□							
作物及び作型 (品種)※1	出荷販売期間	玄米生産量(生産計画から算出) ※2				形態別出荷販売数 (玄米生産量を出荷形態別に振分ける) ※3								出荷販売量※4		※5 出荷販売先 (販売店等所在地)	※6 認証シール 使用枚数	備 考			
		形態	kg/袋	袋数	数量	表示区分	7/100(1080kg)	袋(30kg)	袋(10kg)	袋(5kg)	袋(2kg)	袋(kg)	袋(kg)	玄米	精米						
水稻 つや姫①	10月5日 ～11月30日	フレコン	1,080	3	3,240	特裁玄米	3							3 3,240	JA○○ (○○市)	大 3 枚 小 枚					
水稻 つや姫①	10月5日 ～11月30日	紙袋	30	269	8,070	特裁玄米		269						269 8,070	JA○○ (○○市)	大 枚 小 269 枚					
水稻 つや姫②	10月5日 ～11月30日	紙袋	30	225	6,750	特裁玄米		225						225 6,750	榊○○米店 (東京都△△区)	大 枚 小 225 枚					
水稻 つや姫②	10月5日 ～11月30日	紙袋	30	5	150			5						5 150	自家消費米	大 枚 小 枚					
水稻 はえぬき①	10月5日 ～11月30日	フレコン	1,080	24	25,920	特裁玄米	24							24 25,920	JA○○ (○○市)	大 24 枚 小 枚					
水稻 はえぬき①	10月5日 ～11月30日	紙袋	30	1,356	40,680	特裁玄米		1,356						1,356 40,680	JA○○ (○○市)	大 枚 小 1,356 枚					
水稻 はえぬき②	10月5日 ～11月30日	フレコン	1,080	8	8,640	特裁精米			778					778 7,780	榊▲▲米商 (○○市)	大 枚 小 778 枚					
水稻 はえぬき②	10月5日 ～11月30日	紙袋	30	712	21,360	特裁精米			1,922					1,922 19,220	榊▲▲米商 (○○市)	大 枚 小 1,922 枚					
水稻 はえぬき②	10月5日 ～11月30日	紙袋	30	775	23,250	特裁玄米 (小分け)			1,400	1,400	1,125			3,925 23,250	榊▲▲米商 (○○市)	大 枚 小 3,925 枚					
水稻 コシヒカリ	10月5日 ～11月30日	フレコン	1,080	55	59,400	特裁玄米	55							55 59,400	JA○○ (○○市)	大 55 枚 小 枚					
水稻 コシヒカリ	10月5日 ～11月30日	紙袋	30	1,920	57,600	特裁玄米		1,920						1,920 57,600	JA○○ (○○市)	大 枚 小 1,920 枚					
水稻 ササニシキ	10月5日 ～11月30日	フレコン	1,080	50	54,000	特裁玄米	50							50 54,000	榊○○米商 (○○県△△市)	大 50 枚 小 枚					
水稻 ササニシキ	10月5日 ～11月30日	紙袋	30	2,100	63,000	特裁玄米		2,100						2,100 63,000	榊○○米商 (○○県△△市)	小 2,100 枚					
水稻 ササニシキ	10月5日 ～11月30日	紙袋	30	5	150			5						5 150	自家消費米	大 枚 小 枚					
計						袋数	132	5,880	4,100	1,400	1,125			9,937	2,700		大 132 枚				
				7,507	372,210	数量	142,560	176,400	41,000	7,000	2,250			342,210	27,000		小 12,495 枚				

※1 同一作物で作型・品種が異なる場合は、作型品種及び出荷販売の形態別、出荷販売先別に記入する。
※2 玄米生産量欄は「栽培面積×10a当り収穫量」を基本として記入する。
※3 形態別出荷販売数欄の「袋(kg)」は実態に則した容量に訂正して記入する。
※4 上段には出荷販売袋数等の計、下段には出荷販売量の計を記入する。
※5 申請時に出荷販売先未定の場合、出荷販売先欄は「未定」と記入する。
※6 認証シール使用枚数は、全ての貼付枚数を記入する。
※7 実績報告書の提出時は、出荷実績について確認し適正と認めた場合に、最終確認年月日、確認責任者氏名を記入する。
※8 出荷販売計画の変更、認証シール追加交付依頼、実績報告書の提出にあたっては、変更前・変更後を別葉で提出して差し支えない。
※9 記載行が不足する場合は複数ページで作成し、最終ページ以外は「計」をページ毎の「小計」に訂正する。

様式第8号実績報告書の3(3)当年
使用枚数との整合確認をする(破損
等は枠外余白に記入)

令和 8 年 販 売 実 績

販売実績確認欄 ※4

令和 8 年 12 月 31 日
精米確認者
◎◎センター長 □□ □□

作物・作型 品 種	入 荷 先 等		形態別入荷数			入荷量計 (kg)	販売期間	形態別販売数			販売量計 (kg)	認証シール 使用枚数	
	入荷先※1※2 (認証登録者名)	入荷時期	形 態	kg／袋	袋 数			形 態	kg／袋	袋数			
	ガイドライン表示											※3	
水稻 つや姫②	JA〇〇特裁米研究会	10月10日 ～12月10日	フレコン	1080kg	8	30,000	10月10日 ～9月30日	ビニル袋 (精米)	10kg	1,897	18,970	大 小	枚 枚
	つや姫②空散タイプ		紙袋	30kg	712			5kg 2kg	703 7	3,515 14			
水稻 つや姫②	JA〇〇特裁米研究会	10月10日 ～12月10日	紙袋	30kg	630	18,900	10月10日 ～9月30日	ビニル袋 (玄米) 小分け	10kg 5kg 2kg	1,436 700 520	14,360 3,500 1,040	大 小	枚 枚
	つや姫②空散タイプ												
												大 小	枚 枚
	※ 販売量について申請と実績が乖離した場合、その要因等を余白に記入する。											大 小	枚 枚
	※ 販売先との協議等によって「特別栽培農産物」の表示を行わないで販売したものがある場合、 その販売先、数量、理由等を余白に記入するか、別紙で提出する。 また、認証シールを貼付しないで販売した場合も同様とする。											大 小	枚 枚
												大 小	枚 枚
												大 小	枚 枚
												大 小	枚 枚
												大 小	枚 枚
計					1,350	48,900				5,263	41,399	大 小	0 枚 5,263 枚

※1 米穀集荷業者から入荷する場合は、認証登録者名を（ ）書きで入れる。
※2 認証登録者が同一品種で複数の生産方式となっている場合は、ガイドライン表示が特定できるよう生産者名の記入、パターン名の記入など生産方式が特定できるようにする。
※3 認証シール使用枚数は、全ての貼付枚数を記入する。
※4 実績報告書の提出時は、出荷実績について確認し適正と認めた場合に、確認年月日、確認責任者氏名を記入する。
販売を主として担当する者以外の者が確認するものとする。

ガイドライン表示（実績）

玄米出荷用 つや姫①

農林水産省新ガイドラインによる表示		節減対象農薬の使用状況		
特別栽培農産物		使用資材名	用途	使用回数
節 減 対 象 農 薬： 当 地 比 5 割 減		イプロナゾール	殺菌	1回
化学肥料(窒素成分)： 当 地 比 5 割 減		チアジニル	殺菌	1回
栽培責任者 ○○南部農業協同組合 営農部 生産指導課		クロラントラニプロール	殺虫	1回
所在地 山形県○○市○○町○番△号		ピラクロニル	除草	1回
連絡先 023-456-9999		プロピスルフロン	除草	1回
確認責任者 ○○南部農業協同組合 営農部 生産管理課		ダイムロン	除草	1回
所在地 山形県○○市○○町○番△号		ペノキススラム	除草	1回
連絡先 023-456-9998		アノキシストロピン	殺菌	1回
		エトフェンブロックス	殺虫	1回
		ジノテフラン	殺虫	1回

精米販売用 つや姫①

農林水産省新ガイドラインによる表示		節減対象農薬の使用状況		
特別栽培農産物		使用資材名	用途	使用回数
節 減 対 象 農 薬： 当 地 比 5 割 減		イプロナゾール	殺菌	1回
化学肥料(窒素成分)： 当 地 比 5 割 減		チアジニル	殺菌	1回
栽培責任者 ○○南部農業協同組合 営農部 生産指導課		クロラントラニプロール	殺虫	1回
所在地 山形県○○市○○町○番△号		ピラクロニル	除草	1回
連絡先 023-456-9999		プロピスルフロン	除草	1回
確認責任者 ○○南部農業協同組合 営農部 生産管理課		ダイムロン	除草	1回
所在地 山形県○○市○○町○番△号		ペノキススラム	除草	1回
連絡先 023-456-9998		アノキシストロピン	殺菌	1回
精米確認者 ○○南部農業協同組合 ◎◎センター		エトフェンブロックス	殺虫	1回
所在地 山形県○○市◎◎町△番○号		ジノテフラン	殺虫	1回
連絡先 023-457-5555				

※実績報告書に添付するガイドライン表示は次のいずれかとする。

- ・出荷販売の包装体に貼付したシールの現物を白紙に貼り付け、区分説明を記入したもの
- ・印刷原稿を白紙に出力し、区分説明を記入したもの
- ・出荷販売の包装体に印刷したものの包装体現物(表示部分のみ切り取る)に、区分説明を記入したもの
- ・シール現物の写真(表示内容が判読可能なサイズ)に、区分説明を記入したもの

なお、店頭表示等については状況写真及び表示内容の拡大写真(又は、表示現物)を添付する。

※ホームページ上で節減対象農薬等を表示した場合は、必ず表示枠内にアドレスを記入する。

なお、実際のホームページの画面も印刷して添付する。

付表 3

翌年の現地検査の際に確認します。実績報告に添付する必要はありません。

令和 8 年 特別栽培米受払台帳

とう 精 等 施 設 名						精 米 責 任 者							
所在地 山形県〇〇市〇〇町〇番△号 所有者 JA〇〇 ◎◎営農センター 精米所 TEL 023-456-7890						所在地 山形県〇〇市〇〇町〇番△号 氏 名 〇〇南部農業協同組合 営農部販売管理課 TEL 023-456-9997							
栽 培 責 任 者						精 米 確 認 者							
所在地 山形県〇〇市〇〇町〇番△号 氏 名 〇〇南部農業協同組合 営農部生産指導課 TEL 023-456-9999						所在地 山形県〇〇市◎◎町△番〇号 氏 名 〇〇南部農業協同組合 ◎◎センター TEL 023-457-5555							
確 認 責 任 者						精 米 確 認 欄 ※1							
所在地 山形県〇〇市〇〇町〇番△号 氏 名 〇〇南部農業協同組合 営農部生産管理課 TEL 023-456-9998						令和 9 年 2 月 2 8 日 精米確認者 □□ □□							
入荷先	自己生産				品種	つや姫②				産年	8 年産		
年月日	検査 等級	玄米 残数量 (kg)	玄米 買受 数量 (kg)	玄米 使用 数量 (kg)	精米 生産 数量 (kg)	歩留 (%)	精米生産数量の包装量目別内訳(個数)						
							15kg	10kg	5kg	3kg	2kg	1kg	計
R8 10.10	1		30,000	2,500	2,500	1.00		200	100				300
10.15		27,500		2,700	2,700	1.00		200	100		100		400
10.18		24,800		2,700	2,700	1.00		200	100		100		400
11. 1	1	22,100		3,100	3,100	1.00		250	100		50		400
				2,500	2,250	0.90		200	50				250
11.25		16,500		2,700	2,700	1.00		200	100		100		400
				1,380	1,242	0.90		100	48		1		149
12.10		12,420		3,000	3,000	1.00		236	100		70		406
				1,380	1,242	0.90		100	48		1		149
R9 1.15	1	8,040	18,900	2,200	2,200	1.00		150	100		100		350
				1,380	1,242	0.90		100	48		1		149
1.16		23,360											
				1,619	1,457	0.90		120	51		1		172
1.17		21,741											
				1,380	1,242	0.90		99	50		1		150
1.25		20,361											
				2,492	2,242	0.90		199	50		1		250
2.10		17,869											
				2,489	2,240	0.90		199	50				249
2.19		15,380											
				2,400	2,160	0.90		190	52				242
2.20		12,980											
				1,950	1,755	0.90		150	51				201
2.28		11,030											
				1,950	1,755	0.90		149	53				202
※ 本表はとう精確認の都度作成し、一括記載される性格のものではない。 (総括)精米確認者は確認の都度、記名のうえ保管する。 ※ この作成例は玄米・精米を一括記載しているが、別葉で作成しても差し支えない。													
計	(玄米) (精米)	9,080	48,900	18,900	18,900	1.00		1,436	700		520		2,656
				20,920	18,827	0.90		1,606	551		6		4,819